（別添資料１）

事業所名　ぷっちぃさらだ

支援プログラム（参考様式）

作成日　R8 年 2 月 28 日

法人（事業所）理念	学校と自宅の架け橋の役割として、お子さんの心身の成長と発達を支援する				
支援方針	様々な活動への参加、体験を通して子どもたちが楽しさ（満足）と充実（自信）が得られるように、子どもと一緒に活動に取り組む				
営業時間	8 時 30 分から 18 時 0 分まで		送迎実施の有無	あり（○）　なし	
	支　援　内　容				
本人支援	健康・生活	・事業所に来所～基本的な生活習慣の実施（支援）…事業所に入った後、うがいや手洗いなどの基本的な生活習慣スキルの機会を設け、支援を行う。 ・個別の課題の取り組み…衣服の着脱、片付け、排泄、など個別に応じて生活スキルの獲得／成長を促す支援を行う。 ・事業所に来所時に健康管理…事業所に入った後、体温の測定、体調等の変化の確認、その他必要に応じた対応を行う。			
	運動・感覚	・レクリエーション…レクリエーション内容に身体的な刺激（粗大運動）を設ける。 ・プール活動…プールを利用し、身体全体を用いた刺激（プログラム）を設ける。			
	認知・行動	・創作活動…創作を通じて、本人のイメージや表現を体や手先を用いて行う事で行動や手順、見通しなどを理解する機会を設ける。 ・レクリエーション…レクリエーションの内容にルール性や集団性を設け、活動（遊び）を通して規則性（守る事）や自身と他者の存在を刺激できる機械を設ける。			
	言語 コミュニケーション	・事業所における活動全般…本人（個人）と支援者、支援者から他児へと活動や遊びの対象を広げていく機会を設ける。 ・個別の課題の取り組み…個人の課題に取り組む時間を確保し、学校等の課題（宿題）とは異なる個別の課題を設ける。（絵カードの読み上げ、字の書き写しなど）			
	人間関係 社会性	・買い物学習／外食活動…様々な店舗等へ出向き、他者との関わりの機会を設ける。 ・外出活動…事業所と異なる施設等へ出向き、他者とのコミュニケーション（挨拶など）の機会を設ける。			
家族支援	・個別ケースに応じた面談／アセスメントなど ・ニーズに応じたレスパイト支援（受け入れの調整）		移行支援		
地域支援・地域連携	・個別支援会議の実施／実施（必要に応じた関係機関の参画） ・地域の児童館の使用／交流		職員の質の向上	・内部研修（伝達研修、感染症、BCP、権利擁護／虐待防止、等） ・外部研修（権利擁護／虐待防止研修、防災等に関する研修、その他）	
主な行事等	・季節性のある行事（お花見外出、流しそうめん、クリスマス行事、お正月遊び、等） ・事業所祭（法人祭：あったかまつり）				